



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 東リ株式会社
 コード番号 7971 URL <http://www.toli.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6494-6691

平成29年11月29日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	42,205	1.1	1,123	4.7	1,249	3.0	829	6.6
29年3月期第2四半期	42,663	0.4	1,179	19.9	1,212	11.4	778	25.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,005百万円 (12.9%) 29年3月期第2四半期 890百万円 (30.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.45	
29年3月期第2四半期	12.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	73,932	34,072	45.9
29年3月期	75,498	33,555	44.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 33,917百万円 29年3月期 33,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.00		8.00	10.00
30年3月期		2.00			
30年3月期(予想)				8.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	1.7	3,900	8.2	4,000	8.4	2,650	12.6	42.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	66,829,249 株	29年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	5,139,175 株	29年3月期	5,138,586 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	61,690,355 株	29年3月期2Q	61,692,159 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性や政治情勢の変動による影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。インテリア業界では、インバウンド効果によるホテル・宿泊施設関連需要が好調に推移する中、首都圏を中心とした大型再開発案件への期待が高まりつつあるものの、内装材新築需要の総量には力強さが見られず、また、昨年秋以降の原油・ナフサ価格上昇に伴い春先より主要原材料価格が高騰するなど、経営環境は厳しいものとなりました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画「SHINKA-100」フェーズⅠの最終年度を迎え、独自性のある製品の発売や、きめ細かな販促活動に注力するとともに、製造現場でのコストダウンや販管費の縮減に努め、収益性の向上を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は42,205百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は1,123百万円（前年同期比4.7%減）、経常利益は1,249百万円（前年同期比3.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は829百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

塩ビ床材では、昨年に新柄を投入したビニル床タイル「ロイヤルシリーズ」やマンション開放廊下向けの防滑性ビニル床シート「NS800」などが市場浸透し、売上が伸びました。また、本年5月にリニューアルしたビニル床シート「フロアリューム プレミアNWシリーズ」は、発売以降順調に売上が伸び、ワックスメンテナンスが長期間不要な床材「NWシリーズ」の市場拡大に寄与しております。カーペットでは、ホテル需要を中心としてロールカーペットが好調に推移しましたが、オフィス向けのタイルカーペットは低調な動きとなりました。壁装材では「不燃認定壁紙1000」や汎用グレードの「VS」、不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」などが引き続き好調を維持しました。カーテンは「コントラクトカーテン」や「プラスポヌール」が堅調に推移しましたが、住宅分野での苦戦が影響し、前年同期を下回る売上となりました。これらの結果、プロダクト事業の売上高は25,646百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は1,204百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

<インテリア卸及び工事事業>

本年6月発売の住宅向けカーテン「エルーア」を中心に窓回り商品の拡販に努めましたが、非住宅分野における床材などの内装材需要は伸びを欠き、全体では前年同期を下回りました。これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は27,260百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は200百万円（前年同期比40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、季節変動に伴う売上債権の減少等により、前期末に比べ1,566百万円減少し、73,932百万円となりました。

負債については、仕入債務の減少等により、前期末に比べ2,083百万円減少し、39,859百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加等により、前期末に比べ516百万円増加し、34,072百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、内装材需要の拡大が期待されますが、人手不足による労務費の高騰や物流費の上昇が懸念されるなど、事業環境は依然として先行き不透明な状況にあります。こうした中、当社グループは中期経営計画「SHINKA-100」フェーズⅠ最終年度目標の達成を目指し、今秋発売となる汎用タイルカーペットの歴史を塗り替える「新・GA-100シリーズ」や、独自の柄表現を用いたプリントタイル「ロイヤルストーン・モア ルミナス」の新柄などを中心とするプロモーションに注力し、迅速な市場浸透を図るとともに、引き続き高付加価値製品の開発や営業強化に努め、成長戦略を押し進めてまいります。

なお、業績予想につきましては、平成29年5月9日公表の連結業績予想数値を一部修正いたします。売上高につきましては、第2四半期連結累計期間の実績値等を鑑み、前回予想より下方修正しております。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、高収益商品の拡販や製造現場でのさらなるコストダウンを図ることなどにより、前回予想数値を据え置きとしております。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 94,000	百万円 3,900	百万円 4,000	百万円 2,650	円 銭 42.96
今回修正予想 (B)	93,000	3,900	4,000	2,650	42.96
増減額 (B-A)	△1,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△1.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	91,466	4,249	4,367	3,031	49.14

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,413	10,855
受取手形及び売掛金	27,046	22,848
商品及び製品	6,933	7,924
仕掛品	1,108	1,278
原材料及び貯蔵品	1,443	1,542
繰延税金資産	475	457
その他	863	1,209
貸倒引当金	△224	△153
流動資産合計	48,059	45,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,148	6,105
機械装置及び運搬具(純額)	2,115	2,626
工具、器具及び備品(純額)	235	286
土地	9,075	9,110
建設仮勘定	696	682
その他(純額)	67	72
有形固定資産合計	18,339	18,884
無形固定資産		
ソフトウェア	234	227
その他	494	562
無形固定資産合計	728	790
投資その他の資産		
投資有価証券	5,693	5,902
繰延税金資産	435	377
その他	2,372	2,136
貸倒引当金	△130	△122
投資その他の資産合計	8,370	8,294
固定資産合計	27,438	27,968
資産合計	75,498	73,932

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,809	21,320
短期借入金	1,550	950
未払法人税等	933	474
未払費用	1,580	1,454
賞与引当金	797	777
その他	2,215	2,439
流動負債合計	29,886	27,416
固定負債		
長期借入金	5,305	5,805
環境対策引当金	27	27
退職給付に係る負債	4,094	4,124
その他	2,628	2,486
固定負債合計	12,056	12,443
負債合計	41,943	39,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,423	6,423
利益剰余金	19,377	19,720
自己株式	△1,121	△1,121
株主資本合計	31,534	31,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,029	2,167
為替換算調整勘定	—	△1
退職給付に係る調整累計額	△187	△126
その他の包括利益累計額合計	1,841	2,039
非支配株主持分	178	154
純資産合計	33,555	34,072
負債純資産合計	75,498	73,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	42,663	42,205
売上原価	30,425	30,131
売上総利益	12,238	12,073
販売費及び一般管理費	11,059	10,950
営業利益	1,179	1,123
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	69	85
仕入割引	40	40
保険配当金	57	47
その他	77	71
営業外収益合計	246	246
営業外費用		
支払利息	46	42
売上割引	68	67
為替差損	71	—
その他	26	10
営業外費用合計	213	120
経常利益	1,212	1,249
特別損失		
固定資産除却損	9	21
特別損失合計	9	21
税金等調整前四半期純利益	1,202	1,227
法人税、住民税及び事業税	394	430
法人税等調整額	20	△9
法人税等合計	414	421
四半期純利益	788	806
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△22
親会社株主に帰属する四半期純利益	778	829

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	788	806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	138
為替換算調整勘定	—	△0
退職給付に係る調整額	78	61
その他の包括利益合計	102	199
四半期包括利益	890	1,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	881	1,028
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,202	1,227
減価償却費	632	646
固定資産除却損	9	21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41	△78
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	29
受取利息及び受取配当金	△71	△87
支払利息	46	42
売上債権の増減額(△は増加)	5,070	4,257
たな卸資産の増減額(△は増加)	△540	△1,238
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,520	△1,611
その他	△168	△461
小計	3,608	2,748
利息及び配当金の受取額	71	87
利息の支払額	△46	△43
法人税等の支払額	△833	△833
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,800	1,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,027	△759
無形固定資産の取得による支出	△130	△129
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
貸付けによる支出	△3	△15
貸付金の回収による収入	13	7
その他	19	107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,131	△792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	—
長期借入れによる収入	1,105	1,300
長期借入金の返済による支出	△1,700	△1,400
配当金の支払額	△555	△493
その他	△220	△233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,070	△827
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	549	341
現金及び現金同等物の期首残高	8,955	10,353
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	100
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,505	10,795

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,394	27,269	42,663	—	42,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,808	185	10,994	△10,994	—
計	26,202	27,455	53,657	△10,994	42,663
セグメント利益	1,033	334	1,367	△155	1,212

(注)1 セグメント利益の調整額△155百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,109	27,096	42,205	—	42,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,537	163	10,701	△10,701	—
計	25,646	27,260	52,906	△10,701	42,205
セグメント利益	1,204	200	1,404	△154	1,249

(注)1 セグメント利益の調整額△154百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。